

給食センター職員（調理員）を募集します

■募集人員 1人

■応募資格 平成5年4月2日以降生まれの人（調理師免許不問）

■職務内容 学校給食調理業務

■試験日 3月18日（土）

■採用予定 4月1日（土）

■申込期間 3月14日（火）まで 持参または郵送（必着）

持参の場合 8時30分～17時15分（土日を除く）

■提出書類 履歴書、未使用の葉書

■提出・問い合わせ

〒846-0024 多久市南多久町大字下多久2898番地10

一般財団法人 多久市学校給食振興会（多久市学校給食センター）

☎71-2036



～ちょっといい話～

子どもの成長

卒業の季節。

退場する生徒を見送る際に、こみ上げる涙が止まらない卒業式。夜中に探し回ったり、軽犯罪を起こしたりと心配した生徒たちが、別れる際に伝える言葉をあらかじめ考えてきているのです。「迷惑をかけた」と詫びを伝える生徒、「辛い時に声をかけてくれた」と礼を伝える生徒、「怒鳴ってもらって嬉しかった」と感謝を伝える生徒など、その思いはさまざまでした。

厳しさも叱られたことも、全て自分に関わってくれた優しさと理解した事を見せてくれます。子どもたちの成長は早いものです。

多久市教育長 田原 優子

○市外から見て魅力的な施設がほしい。

○子育てしている人にも働く場所を与えてほしい。

○市外から見て魅力的な施設がほしい。



▼問い合わせ

情報課 広報広聴係 ☎75-2280

「広聴事業ワークショップ」

市長が子育て世代と本音トーク

2月8日にひしのみこども園で、多久市広聴事業ワークショップ「子育て世代についていろいろ大変！市長と一緒に本音トーク」を開催。

ひしのみこども園に通う子どもの保護者など22人が参加し、3つのグループに分かれ、「住みやすい多久市」に向けて、これからやるべきことと、「住みやすい多久市」に向けてどのように進めればいいのか」をワークショップ形式で意見交換しました。

○街灯を増やし、明るい町にしてほしい。夜道を子どもたちが歩くことは危険だし、運転者も歩行者が見えづらい。

○通学路にトラックが多いので、う回路を作ってほしい。

○子育てしている人にも働く場所を与えてほしい。

○市外から見て魅力的な施設がほしい。

○骨折などした

中学生が、スクールバスを利用できなかったら。

○病院や図書館を充実させてほしい。休日は市外の病院まで行かなければならないので。

○子どもたちが安全に遊べる公園がほしい。目が届くように、周囲から見通しが良くなってほしい。

○新しい児童館までのバスがあれば利用しやすい。

○子どもの医療費の負担が少しでも減ればいいと思う。

○子ども用品を買うことができるようなお店が市内にできたらいい。

子育て世代の目線から、さまざまな意見をいただきました。いただいた意見は今後の市政運営に活かしていきます。

